

## 第5文型

### 1. 第5文型とは

第5文型は、「S+V+O+C」（主語+動詞+目的語+補語）の形をした文のことです。第4文型の直接目的語（O）が補語（C）に変わった文型で、O=Cの形になるのが特徴です。

第4文型と混乱する人がたまにいますが、第4文型はS+V+O+Oの文でO≠Oであったのに対し、第5文型はS+V+O+Cの文でO=Cです。

ちなみに、Let's ～. や There is ～. の文も第5文型です。では、実際に第5文型の文を紹介していきます。

例文：

We call him Matcho.

（私たちは彼をマッチョと呼びます。）

どれだけ筋肉質なんでしょうか。ちなみに、Matcho は英語ではありません。この場合は、彼のあだ名が Matcho です。ということは、

彼（him）＝マッチョ（Matcho）

⇒ We call him Matcho

S V O C

ということになります。従って、O=C が成り立ちますので、これは第5文型という事がわかります。

では、次の例文です。

例文：

I named my dog Terminator.

(私はペットの犬にターミネーターと名づけました。)

⇒ I named my dog Terminator.

S    V    O        C

この最強の犬の文は、「ペットの犬 ( my dog )」 = 「ターミネーター ( Terminator )」ですので、O=C が成り立ちます。よって、この文は第5文型です。

## 2. 第5文型で使われる動詞

第5文型で使われる動詞はある程度パターンが決まっています。では、紹介したいと思います。

### ○ 人（生き物）に何かをする動詞

上に出ている例文の **call**（呼ぶ）、**name**（名づける）もここに属します。他には、**elect**（選ぶ）などがあります。

例文：

**They elected him chairperson.**

（彼らは彼を議長に選びました。）

彼（**him**）＝議長（**chairperson**）ですので、第5文型です。

### ○ 頭のなかで思う動詞

ここでよく使う動詞は、**think**（思う） **find**（わかる） **believe**（信じる）等です。

例文：

**He thinks himself handsome.**

（彼は自分がハンサムだと思っています。）

たまにいますね、こういう方。

この場合、自分（**himself**）＝ハンサム（**handsome**）となり、**O=C** で第5文型です。

では、find と believe でも例文を挙げますので、参考にして下さい。

例文：

**I found it true.**

O (それ) = C (真実)

(私はそれが真実だとわかりました。)

**I believe her honest.**

O (彼女) = C (正直)

(私は彼女は正直だろうと信じています。)

○ 状態を変えたり維持したりする動詞

ここでよく使う動詞は、make (～にする) keep (～にしておく) leave (～にしておく) 等です。

例文：

**The news made me happy.**

(私はその知らせを聞いて喜びました。)

よくある例文です。この場合、私 (me) = 喜び (happy) となり、O=C で第5文型です。直訳すると、「その知らせが私を喜ばせました。」となりますが、自然な日本語にしたほうがいいです。

では、残りの動詞の例文です。

例文：

**Please keep the electric fan running.**

O (扇風機) = C (ついたまま)

(扇風機をついたままにしてください。)

Don't leave the light on.

O (電気) = C (ついたまま)

(電気をついたままにはいけません。)

Copyright (C) 2008 All Rights Reserved, ちょいデブ親父の英文法